

『風と未来』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。

未来を語る！ 富士河口湖町・富士吉田市・都留市

町長さんと語る会 in 富士河口湖町

○日 時 11月1日(金) 14:15～16:00

○場 所 富士河口湖町役場 議場

○主催者 富士河口湖町児童生徒連絡協議会

○参加者 各小学校児童会役員16名

各中学校生徒会役員7名

富士河口湖高校生徒会役員2名

富士河口湖町長、副町長、教育長、全課長ほか

○テーマ

「富士河口湖町をさらに魅力ある町にしていけるためには」

○内 容

- ・ 町議会議員に扮した児童生徒が町の施策について質問を行いました。「温泉の有効活用」「マイナンバーカード普及」「農作物の全国へのPR」など鋭い質問が相次ぎました！
- ・ 児童生徒の質問に担当課長が本番さながらに答弁します。
- ・ その後各校が、「10年後こんな町 or 学校になったらいいな」について具体的な取組を提案しました。
- ・ 最後に町長さんより、「出合いを大切に」「志を高く持とう」など、子どもたちに熱いメッセージをいただきました。

○参加者の感想

「本日は町長さんや課長さんたちと富士河口湖町の課題についてお話ができてとても嬉しかったです。今ある自然や環境を将来に残していくために、自分にできることを行い、町に貢献していこうと思いました」(中学生)

「町長さんや各課長さんなどリーダーの皆様方との交流を通じて、今後自分が学校や社会でリーダーを任せられたときに、本日学んだことを生かしていきたいです」(高校生)



会場の様子



「水道課長答弁をお願いします」



本物の議員さんのような風格！



「オーバーツーリズムの具体的な対策を教えてください」



担当課長さんの答弁の様子



渡辺英之富士河口湖町長



町長さんを囲んでハイ、チーズ！みんな良い表情ですね！

市長さんと話す会 in 富士吉田市

- 日 時 11月12日(火) 14:30～16:00
 ○場 所 富士吉田市民会館小ホール
 ○主催者 富士吉田市児童生徒連絡協議会
 ○参加者 各小学校児童会役員14名
 各中学校生徒会役員11名
 富士吉田市長、教育長、企画部長、教育部長ほか

○討議の柱

- ①「どんな富士吉田で暮らしていきたいか？」
- ②「私たちはどんなことに取り組んでいけるか？」

○内 容

- ・市の児生連では、この会に向けて3回会議を実施。市の現状や改善点などについて討議を繰り返してきました。
- ・これまでの議論で出てきた意見を市長さんに伝えたり、市長さんのお考えを聞いたりすることが主な目的でした。
- ・基調提案終了後、小中生混在の班で討議し、お互いの考えをさらに深めました。その後、各班の代表が班の意見をまとめ全体で発表しました。
- ・市長さんは、子どもたちの意見に熱心に耳を傾け、一つ一つ丁寧に答えていらっしゃいました。
- ・今の小中学生として考えたことを直接市長さんに聞いていただける時間は、大変貴重な機会となり、来年度の活動に繋げていきたいという意欲が高まりました。(主催者)

○参加者の感想

「今日は市長さんに自分たちの意見を聞いていただいたり、市長さんのお考えを直接聞いたりしてとても貴重な体験ができました。」(小学生)「市長さんや教育長さんと思いを共有できて忘れられない一日となりました。今日の経験を生かし、学校生活を頑張り、将来は富士吉田市を担える人材になりたいです。」(中学生)



会場の様子



堀内茂富士吉田市長



「私が富士吉田で好きな所は～」



小中混在でのグループ討議



小学生も積極的に発言！



討議を見守る渡邊治男教育長



市長さん、教育長さんと記念撮影！

都留リーダーサミット in 都留市

- 日 時 11月15日(金) 14:20～16:00
 ○場 所 都留市役所 大会議室
 ○主催者 都留市児童生徒連絡協議会
 ○参加者 各小学校児童会役員21名
 各中学校生徒会役員等9名
 都留興譲館高校生徒会役員3名
 都留市長、教育長、教育委員ほか

○テーマ

「都留市の未来を考える～安心して生活できるまちへ～」

○内 容

- ①谷村第一小学校、都留第二中学校がISS(インターナショナル・セーフ・スクール)の取組について発表



会場の様子



堀内富久市長のご挨拶



意見をグルーピングし考えをまとめます



小林正人教育長も討議を見守ります

②グループ討論

- ・小中生混在の3グループに分かれ、都留興譲館高校の生徒は助言者として各グループに一人ずつ参加した。
- ・「都留市にどんなまちであってほしいか」について個人で考え、黄色い付箋に書いて模造紙に貼りました。その後、グループで意見交換を行いました。
- ・次に、都留市を理想のまちにするために、力を貸してほしいことを赤い付箋に、また、自分たちにできる取組を青い付箋に書き模造紙に貼りました。
- ・それらを元にグループで熟議を行いました。
- ・最後にグループの代表が全体で発表しました。



グループでまとめた意見を発表！



「私たちにできることは～」



市長さん、教育長さん、教育委員の方々と記念撮影！

○参加者の感想

「本日のさまざまな活動で、都留市の未来のために真剣に話し合うことができました。本日学んだことをそれぞれの学校でしっかりと伝え、自分たちができることを実践していきたいと思いました。とても良い機会となりました。」

上野原中学校 『制服リサイクル』～PTA 活動と SDGs～

○取材日時 12月9日(月)

○場 所 上野原中学校被服室

○主催者 上野原中学校PTA

○内 容

- ・コロナ以前は学園祭のPTAバザーで実施。
- ・コロナ禍での中止を経て、現在は年2回の三者懇談期間中に実施。懇談のため来校した親子が利用。
- ・制服の回収は随時学校で行っています。
- ・PTA役員はアイロンがけや販売準備を担当。
- ・売上金は生徒の教材や教具の購入に充てられます。

使える品物をゴミとして出すと環境に大きな負荷をかけることになります。持続可能な世界の実現のためには、リサイクルはとても大切な取組です。このようなPTAの意義深い取組を見た子どもたちが多くのことを学んでくれることを期待します。



一律 300 円、無人での販売



様々なサイズを用意しています



体育着の販売もあります



その場で試着して購入できます

ひばりが丘高校 福祉施設への寄付事業 ～優しさのお裾分け～

○日 時 11月8日(金) 15:00～

○場 所 地域密着型特別養護老人ホーム 『慶和荘サテライト』

○内 容

- ・4年生12名が「創作授業」の一環で夏休み前に短期集中で製作しました。
- ・右の画像にある腰掛けベンチを2脚寄贈しました。
- ・製作にあたっては、地元の井上工務店さんにご協力いただき、ノコギリやカンナの使い方など、危険が伴う作業を安全に行うための指導をしていただきました。

○感 想 「慣れない作業で大変でしたが、施設の皆さんに喜んでいただけて頑張った甲斐がありました。」(高校生)



ひばりが丘高校と吉田小学校の連携交流事業～うどん作り教室～

○日 時 12月2日(月) 10:30～12:20

○場 所 吉田小学校 家庭科室

○講 師 ひばりが丘高校うどん部2名

○参加者 吉田小学校3年1、2組の児童

○内 容 **ひばりが丘高校うどん部公式X(旧ツイッター)はコチラ↑**

- ・吉田のうどんの研究や実際の店舗での出店で有名な、あのひばりが丘高校うどん部の生徒による出前授業！
- ・7～8人でグループを作り、友達と協力してうどん作りを体験しました。
- ・うどん作りを通じて、地元の産業や特産品など伝統の継承について学びました。

○参加者の感想

「うどんを自分で作ったのは初めてだったけど、生地を足で踏んだり、包丁で切った麺を鍋でゆでたりしたところが楽しかった」(小学生)

「子どもたちに教える機会を与えていただきとてもありがたかったです。教えることで自分もたくさんのことを学ぶことができました。」「子どもたちのおいしいという声を聞いてとても嬉しかったです。」(高校生)



講師の話をよく聞いています



みんなでコネコネしています



「足で踏むとコシが出るんだ！」



「このくらいになるまで伸ばしてね」



麺を茹でます。「湯気熱～い！」



みんなでおしくいただきました！

シオジ森の学校 ロケットストーブ作り～災害時の救世主にも！～

○日 時 11月17日(日) 9:00～13:00

○場 所 大月市水下ベニヤ商会

○参加者 14名(4組のご家庭が参加)

○講 師 小林 信保 氏

○内 容

- ・少量の木材で強力な火力を生み出す、熱効率が非常に高いロケットストーブを製作。
- ・ホームセンターなどで簡単に手に入る材料で製作。災害時にも大いに活用できます。
- ・小林氏から作業時の注意点について説明を受けた後、各班に分かれて製作を開始。
- ・アルミ缶を切る作業や長さの調節など難しいところはあったが、全員無事完成。
- ・最後は、ロケットストーブと釜で炊いたご飯を食べながら歓談を楽しみました！

○参加者の感想

「有事の際も今日身につけた知識や技術を生かしていきたいと思います」「ものづくりが苦手で心配していたのですが、市長さんやみなさんが優しくサポートしてくれて本当にありがたかったです」**市長さんが初めてロケットストーブを使ったのは、2014年の大雪災害の時に、地域の方々に炊き出しを行ったそうです。**



会場の様子



小林氏が一人一人を丁寧にサポート！



電動グラインダーでの切断作業。頼もしい！



天野校長と市長のタッグで炊飯！



他に納豆と卵が食べ放題でした(´▽`)



みんな楽しく語りました！

小菅村地域交流行事 『こすげ運動会』～若者が強める村民の絆～

○日 時 11月30日(土) 10:00～13:00

○場 所 小菅村体育館

○参加者 小学生から60歳代までの34名

○内 容

- ・10月6日(日)に予定していた村民体育祭が荒天のため中止となったことを受け、村民の交流の場を作ることを目的に、村の球技部と青年会がタッグを組み開催しました。
- ・障害物競走、玉入れ、2人3脚、大縄跳びなど、若者のアイデアで珍プレー続出!? 最高に盛り上がりました!!
- ・子どもから大人までみんなが楽しみ、笑いあり、大爆笑ありの小菅愛溢れる、心温まる運動会でした。
- ・終了後は、子どもから大人まで多くの方が集い、懇親会が盛大に行われました。

○感 想

「楽しみにしていた体育祭が中止になりがっかりしていたので運動会に参加しました。村のコミュニティに溶け込むきっかけができて良かったです。」(愛媛から9月に移住された方)
 「子どもや若者と交流する機会は少ないのでとても貴重な機会でしたし、本当に良かったです。」(60代女性)



みんなで準備運動しています



あんパンの代わり、うまい棒(?)v



子ども大人も真剣です!



「イッチ、ニツ、イッチ、ニツ!」



手作リシチューとサンドイッチおいしかった!



子どもの笑顔は地域の宝です!

リズムオブラブ 『心と体ヘルスアップ教室』～健康安全郷育～

○日 時 11月21日(木) 10:30～11:45

○場 所 鳥沢小学校 体育館

○講 師 渡辺 光美(みつみ)先生(リズムオブラブ主宰、健康安全郷育アドバイザー、防災士、やまなし大使等)

○参加者 鳥沢小学校1・2年生21名(1年12名、2年9名)
とりさわ認定こども園 年長児22名

○内 容

- ・渡辺先生は小学校の教員を務めていましたが、2001年に起きた「大阪教育大学附属池田小事件」を契機に、「自分の命は自分で守る」子どもを育成するため、健康安全郷育を展開されています。
- ・この日は、「イカのおすし体操」「紙芝居」「たすけてこおりおに」など、子どもたちが体を動かしながら、自分の身を守る意識やスキルを身につけるプログラムを実施しました。



○感 想 [リズムオブラブの詳細についてはコチラ→](#)

「こおりおにごっこがたのしかったです」(園児)
 「イカのおすしダンスをおうちにかえっていえのひとにおしえたいとおもいます。」(小1生)
 「イカのおすし体操で、自分の命を自分で守るということを知りました。これからは知らない人に声をかけられたら、大きい声で「助けて!」と言いたいと思います。」(小2生)



元気一杯の渡辺光美先生!



「イカのおすし体操」



紙芝居で楽しみながら学びます



「丹田に力を入れて、... たすけて〜!」



2年生と



園児と



1年生と



全員に任命証が授与されました

明日の風 アスリート実技講習会

今後の予定 2月15日(土)
3月8日(土)

○日 時 11月9日(土) 9:00~12:00

○場 所 大月市民総合グラウンド

○参加者 北都留地区の小学生13名

SPゲスト 平松建吾さん、毛利来夢さん(都留文科大学)

○種 目 ・走り幅跳び ・ジャベリックスロー

・100m走 ・60mハードル

○内 容

- ・11月2日(土)に予定していたが荒天のため延期。土曜学校を実施した学校もあったため参加者は少数となりました。
- ・都留文科大学陸上部からスペシャルゲストが参加。主将の平松建吾さんと県短距離チャンピオンの毛利来夢さん。

○参加者の感想

「大学生の足の速さにびっくりした。色々教えてもらって嬉しかった。また来たいです。」(小学生)

「幅跳びが楽しかったです。回数を重ねるごとに記録が伸びてとても嬉しかったです。」(小学生)

「私の娘はスポ少等に入っていないので、他校の小学生と交流が図れてとても嬉しかったようです。貴重な機会をありがとうございました。」(保護者)



少数でしたがみんな元気一杯!



SPゲストの模範演技!



「しっかり腕を振って!」



「視線をもう少し上に向けよう」



「一つ一つの動きを丁寧に!」



「マリオのようにジャンプ!」

やまびこ支援学校・都留高校 特別支援学校と普通科高校との交流会

○日 時 10月31日(木) 16:30~18:00

○場 所 やまびこ支援学校体育館

○参加者 やまびこ支援学校寄宿舎生5名

都留高校生徒会役員・ボランティア同好会10名

○内 容

- ・ずいぶん前から行われている交流会で、コロナ禍での中断やオンライン開催を経て、昨年対面での開催が復活。
- ・3人1組(やまびこ支援生1人、都留高生2人)のチームに分かれて3つのゲーム(「お金釣りゲーム」「輪投げ」「〇×クイズ」)に3人で協力して臨みました。
- ・まず始めに、チーム内で自己紹介を行い、各自がハロウィンに選んだコスチュームの説明などを行いました。
- ・ゲームが始まるとお互い積極的にコミュニケーションを取り、すぐに打ち解けて素敵な笑顔がたくさん見られました。

○参加者の感想

「都留高の人たちとゲームができて楽しかったです。私の大阪へ行ったときの旅行記もうらやましいと言ってもらえて嬉しかったです。今年で卒業するから、交流会も最後になるのでとてもさみしいです。」(やまびこ支援学校の生徒)「普段あまり関わる機会がない同年代の生徒と交流できてとても楽しかったです。お互いのことをたくさん知ることができたので、このような機会をもっと作りたいと思います」(都留高の生徒)



はじめの会。やや緊張?



ハロウィンのコスプレです!



1万円以上釣る強者も!



逆さにした傘が的ですよ



子どもたちはすぐに打ち解けます(o)



〇×ゲーム。分かれて〜



みんなで楽しめました!

○日 時 11月8日(金) 13:30~15:20

○場 所 富士見台中学校

○講 師 渡邊 洋平 先生

高3生 盛 琉葵(るあ)さん、高2生 樋川 結さん

○対 象 中学1年生9名、2年生21名

○内 容

・渡邊先生より講演。日本社会が求める人材、中学で最低限身につけておくことなどについてのお話がありました。

・高校生からは、高校生活のリアルな話や「挑戦すること!」「基礎学力を身につけることの大切さ」など中学生への熱いメッセージが伝えられました。

○感 想

「中高の交流は小中ほどなく、中学進学は何倍も高校進学に不安を感じていました。しかし、先生や先輩の話を聞いて、高校に進学するのがすごく楽しみになりました!」

(中学生)「中学生のキラキラしたまなざしからたくさんのエネルギーをもらい、私も頑張らなきゃと思いました。このような機会をいただき感謝しています。」(高校生)



会場の様子



講師の渡邊洋平先生



樋川さん(左)と盛さん(右)



真剣に話を聴きメモを取る中学生



先生と生徒二人の軽妙なやりとり!



質問もたくさん出ました!

丹波小中学校、小菅小中学校 第59回丹菅音楽祭 ~合同音楽祭~

○日 時 10月23日(水) 9:10~11:30

○場 所 小菅村体育館

○講 師 高島 千香先生(大月市民合唱団主宰ほか)

○ゲスト 堀内 志寿子氏(マリンバ演奏者)

○演奏順

①丹波中…合唱「キセキ」合奏「SUMMER」

②丹波小…斉唱「丹波山 木遣り唄」合唱「にじ」

箏演奏「さくら」

③小菅小…太鼓演奏「勇み駒」合唱「この星に生まれて」

④小菅中…太鼓演奏「飛躍」

・各校の演奏終了後、マリンバ奏者 堀内志寿子さんの特別演奏が行われ、音楽会に華を添えました。

○参加者の感想

「人数が少ないながらも心をつなげて発表していたのが素晴らしいと思います。先輩が引退してもしっかり伝統を引き継いでいきたいです。」「最初はうまくいかなかったけど、みんなで一生懸命練習をして本番でうまくいった良かったです。」

○高島先生のコメント

「新たな試みもあり、先生と生徒が一丸となって作り上げたとても印象的な音楽祭でした。また、生徒の皆さんが伝統芸能を継承しようと取り組んだことも他にはない素晴らしいことだと思います。感動しました。」



丹波中の合唱



丹波小の合唱



丹波中の全校合奏



高島 千香先生



丹波小の箏演奏



小菅小の合唱



小菅小の合奏



小菅中の合奏



堀内氏の特別演奏

県立産業技術短期大学校 ～都留第一中学校 産業技術短大見学ツアー～

○日 時 11月13日(水) 13:50～15:30
 ○場 所 山梨県立産業技術短期大学校(産短大)
 ○参加者 都留第一中学校 3年生 63名



○内 容 **産短大のHPにも掲載されています↑**

- ・都留市教育委員会の依頼を受け産短大が実施しました。
- ・都留キャンパスの施設見学を通じ、産短大の設置目的の理解と工業技術への関心を高めることが目的でした。
- ・中学校の「総合的な学習の時間」と「技術」の授業時間を活用して行われました。
- ・生産技術科では授業で使用されている工作機械の実演を見学しました。工作機械で作製した金属製文鎮がプレゼントされました。
- ・電子技術科では、マイコンを使った実習とPythonによるプログラミング実習を見学しました。

○中学生の感想

「生産技術科では、大きな機械をコンピュータで動かすものから人の手で作るものまで、初めて見るものばかりで新鮮だった。電子技術科では難しそうな機器がプログラミングで動くことに驚いた。見学を通じて工業技術の魅力に気づいた。」「都留市にこんなおもしろい短期大学校があることに驚いた。すごく新鮮でとても良い体験ができました。」



見学ツアーの様子



金属を削る迫力に圧倒されています！



完成した文鎮です



機器や設備についての解説



プログラミングの解説



中学生も実際に体験しました！

上野原市社会福祉協議会 第1回制服おゆずり会

○日 時 11月23日(土) 10:00～14:00
 ＊うえのはらオータムフェスティバル内で開催

○場 所 上野原市役所前庭駐車場
 ○主催者 上野原市社会福祉協議会(社協)
 ○協 力 新一区アシスト会、とんびの会、子ども広場ごんぎつね、大目若葉会、まちなかの会 他

○内 容

- ・社協で事前に回収した制服や体育着、通学バッグなどの学用品を希望者に無料でおゆずりしました。
- ・これまで各校やPTAでの取組はありましたが、市全体を対象とした取組を実施したのは今回が初めてでした。
- ・おゆずり会に向けてのアイロンがけや陳列準備、当日の顧客対応はボランティアの方々にご協力いただきました。

○主催者の声

「初めてのことで色々不安はありましたが、ボランティアさんの多大なご協力のおかげで無事終わることができました。また、利用された方々にも大変感謝され、機会があったらまた実施したいと思います。」

○利用者の声

「子どもはすぐに大きくなるので、毎回体育着を買うのは大変でした。このような機会があるのは経済的にも非常に助かります。ぜひまた開催していただきたいです」「制服は新品で買うとかなり高価ですので、本当に助かります。ピッタリのサイズがあってラッキーでした」



おゆずり会の様子



様々な種類とサイズを用意



制服回収に多くの方が賛同



体育着はあっという間に無くなりました



通学鞆や部活用ジャージも！



ボランティアの方々に助けられました！